

デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド（予想分配金提示型） 〈愛称 ゼロ・コンタクト（予想分配金提示型）〉

運用報告書（全体版）

第50期（決算日 2025年7月7日） 第52期（決算日 2025年9月8日） 第54期（決算日 2025年11月7日）
第51期（決算日 2025年8月7日） 第53期（決算日 2025年10月7日） 第55期（決算日 2025年12月8日）

受 益 者 のみ な さ ま へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド（予想分配金提示型）」は、2025年12月8日に第55期の決算を行ないましたので、第50期から第55期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|---------|---|---|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信 託 期 間 | 2021年5月14日から2030年6月7日までです。 | |
| 運 用 方 針 | 主として、「グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっています。 | |
| 主要運用対象 | デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド (予 想 分 配 金 提 示 型) | 「グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド | 日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 組 入 制 限 | デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド (予 想 分 配 金 提 示 型) | 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 |
| | グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド | 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分 配 方 針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<645030>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配額) | 基準価額 | | | | | 株組入比率 | 純資産額 |
|------------------|---------------|------|-----|--------|----|----------|-----------|--------------|
| | | 税分 | 込配 | み金 | 期騰 | 中落 | | |
| 26期(2023年7月7日) | 円 5,116 | | | 円 0 | | % 5.1 | % 96.9 | 百万円 2,018 |
| 27期(2023年8月7日) | 5,362 | | | 0 | | 4.8 | 94.7 | 2,215 |
| 28期(2023年9月7日) | 5,370 | | | 0 | | 0.1 | 97.2 | 2,138 |
| 29期(2023年10月10日) | 4,931 | | | 0 | | △ 8.2 | 97.0 | 1,961 |
| 30期(2023年11月7日) | 5,191 | | | 0 | | 5.3 | 97.3 | 2,059 |
| 31期(2023年12月7日) | 6,043 | | | 0 | | 16.4 | 96.4 | 2,501 |
| 32期(2024年1月9日) | 6,260 | | | 0 | | 3.6 | 96.5 | 2,871 |
| 33期(2024年2月7日) | 6,416 | | | 0 | | 2.5 | 97.1 | 2,921 |
| 34期(2024年3月7日) | 6,855 | | | 0 | | 6.8 | 97.3 | 2,961 |
| 35期(2024年4月8日) | 6,941 | | | 0 | | 1.3 | 97.1 | 2,848 |
| 36期(2024年5月7日) | 6,947 | | | 0 | | 0.1 | 97.2 | 2,662 |
| 37期(2024年6月7日) | 6,805 | | | 0 | | △ 2.0 | 97.2 | 2,411 |
| 38期(2024年7月8日) | 7,242 | | | 0 | | 6.4 | 96.3 | 2,242 |
| 39期(2024年8月7日) | 5,812 | | | 0 | | △ 19.7 | 96.2 | 1,749 |
| 40期(2024年9月9日) | 6,003 | | | 0 | | 3.3 | 96.5 | 1,715 |
| 41期(2024年10月7日) | 7,091 | | | 0 | | 18.1 | 96.8 | 1,951 |
| 42期(2024年11月7日) | 8,216 | | | 0 | | 15.9 | 96.8 | 2,096 |
| 43期(2024年12月9日) | 9,549 | | | 0 | | 16.2 | 96.2 | 2,458 |
| 44期(2025年1月7日) | 9,697 | | | 0 | | 1.5 | 91.6 | 2,588 |
| 45期(2025年2月7日) | 10,059 | | 100 | | | 4.8 | 96.6 | 2,646 |
| 46期(2025年3月7日) | 8,401 | | | 0 | | △ 16.5 | 95.7 | 2,227 |
| 47期(2025年4月7日) | 6,837 | | | 0 | | △ 18.6 | 96.3 | 1,830 |
| 48期(2025年5月7日) | 8,213 | | | 0 | | 20.1 | 96.6 | 2,155 |
| 49期(2025年6月9日) | 10,115 | | | 0 | | 23.2 | 96.5 | 2,363 |
| 50期(2025年7月7日) | 10,844 | | 100 | | | 8.2 | 97.8 | 2,400 |
| 51期(2025年8月7日) | 11,788 | | 200 | | | 10.5 | 96.8 | 2,426 |
| 52期(2025年9月8日) | 11,415 | | 200 | | | △ 1.5 | 97.1 | 2,226 |
| 53期(2025年10月7日) | 12,311 | | 300 | | | 10.5 | 94.2 | 2,617 |
| 54期(2025年11月7日) | 11,306 | | 300 | | | △ 5.7 | 92.7 | 2,582 |
| 55期(2025年12月8日) | 11,087 | | 200 | | | △ 0.2 | 97.8 | 2,643 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指教はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決 算 期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 株組入比率 | 式率 |
|-------|---------------------|-------------|--------|-------|-----------|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| 第50期 | (期 首) 2025年6月9日 | 円 10,115 | % — | | % 96.5 |
| | 6月末 | 10,801 | 6.8 | | 96.4 |
| | (期 末) 2025年7月7日 | 10,944 | 8.2 | | 97.8 |
| | | | | | |
| 第51期 | (期 首) 2025年7月7日 | 10,844 | — | | 97.8 |
| | 7月末 | 11,907 | 9.8 | | 95.6 |
| | (期 末) 2025年8月7日 | 11,988 | 10.5 | | 96.8 |
| | | | | | |
| 第52期 | (期 首) 2025年8月7日 | 11,788 | — | | 96.8 |
| | 8月末 | 11,697 | △ 0.8 | | 96.0 |
| | (期 末) 2025年9月8日 | 11,615 | △ 1.5 | | 97.1 |
| | | | | | |
| 第53期 | (期 首) 2025年9月8日 | 11,415 | — | | 97.1 |
| | 9月末 | 12,231 | 7.1 | | 95.9 |
| | (期 末) 2025年10月7日 | 12,611 | 10.5 | | 94.2 |
| | | | | | |
| 第54期 | (期 首) 2025年10月7日 | 12,311 | — | | 94.2 |
| | 10月末 | 12,330 | 0.2 | | 95.2 |
| | (期 末) 2025年11月7日 | 11,606 | △ 5.7 | | 92.7 |
| | | | | | |
| 第55期 | (期 首) 2025年11月7日 | 11,306 | — | | 92.7 |
| | 11月末 | 10,988 | △ 2.8 | | 97.1 |
| | (期 末) 2025年12月8日 | 11,287 | △ 0.2 | | 97.8 |
| | | | | | |

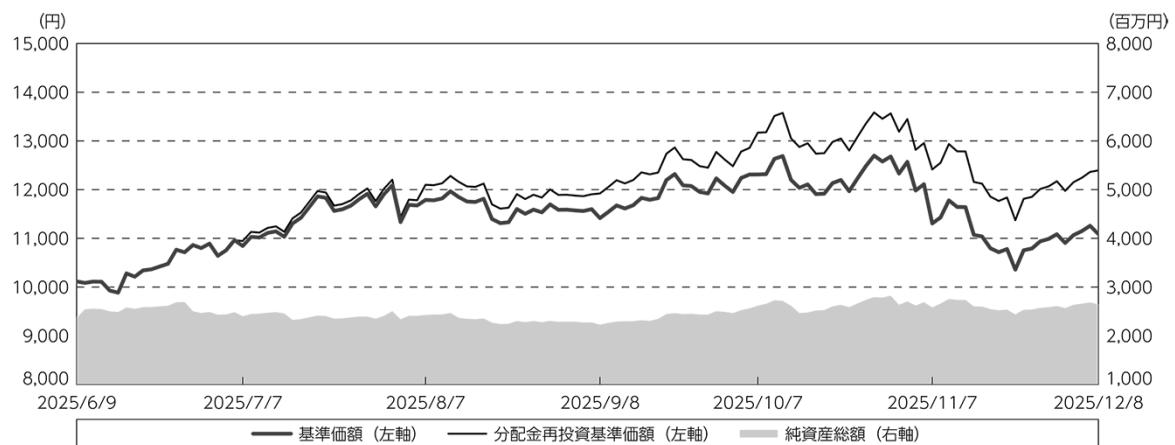
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年6月10日～2025年12月8日)

作成期間中の基準価額等の推移



第50期首：10,115円

第55期末：11,087円（既払分配金（税込み）：1,300円）

騰落率：22.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年6月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル・デジタル・トランسفォーメーション株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能（A I）や半導体への期待を背景に、主要株式市場が好調に推移したこと。
- ・株式およびデジタル資産の取引量が増加したこと。
- ・米国で法人減税および財政刺激策を盛り込んだOne Big Beautiful Bill (OBBB) 法案が成立したこと。

<値下がり要因>

- ・米国の関税政策の変更に伴なう不確実性が高まったこと。
- ・A Iセクターの過熱感に対して投資家の懸念が高まったこと。

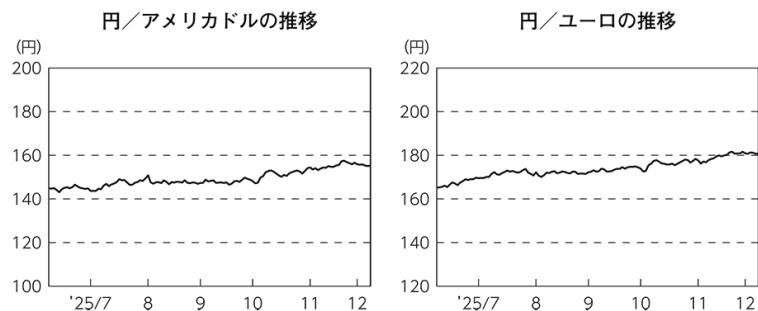
投資環境

(株式市況)

世界的主要株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。複数の貿易関税の停止・交渉の進展が好感されました。米国連邦準備制度理事会（F R B）は、2025年9月と10月の米国連邦公開市場委員会（F O M C）で段階的な金融緩和サイクルを再開しました。暗号資産価格の推移は不安定で、10月に史上最高値を更新した後は売り圧力に押されました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないませんでした。

(グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド)

期間中の主な投資行動としては、アルファベット（メディア・娯楽）を新規に組み入れました。生成A Iを通じて中核製品の転換に成功しており、従来のリサーチ機能にとどまらず検索能力を向上していると評価しています。同社の生成A Iは急速に普及しています。ユーザー需要と基礎モデルにおける実行力を示しており、当ファンドでは長年その可能性を信じ、実行を待っていました。同時に、スマートフォンなどの画面に表示されているテキストや画像などを指で直接なぞることで検索できる機能や、ユーザーの検索結果の概要をA Iが生成・表示する機能のようなイノベーションは、より直感的でマルチモーダル（複数の種類の情報を組み合わせて理解・処理する技術）な体験へのシフトを示しており、新たな検索機能およびユーザー行動を提供しています。この発展とクラウドコンピューティングサービスの成長加速が相まって、同社は収益基盤の多様化を進めるとともに、A Iを搭載したコンピューティングの次の時代をリードし続けるとの見方を強めています。また、イーサリアム（E T H：分散型アプリケーションのためのプラットフォームおよびその中で使用

される暗号資産）関連のトレジャリー企業であるBitMine Immersion Technologies（ソフトウェア・サービス）を新規に組み入れました。ステーキング（暗号資産を保有しブロックチェーンネットワークに預け入れることで、その対価として報酬が得られる仕組み）関連活動、担保戦略、多様な資本市場の資金調達メカニズムを活用した積極的なE T Hの展開によって、1株あたりE T H保有量の伸びを最大化することをめざしています。

一方、広告収益化戦略に対する懸念を理由に、スナップ（メディア・娯楽）の保有を解消しました。A R P U（ユーザー1人あたりの平均収益）は引き続き予想を下回っており、ユーザーの効果的な収益化に課題があることが浮き彫りとなっています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 | 第54期 | 第55期 |
|--------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2025年6月10日～ 2025年7月7日 | 2025年7月8日～ 2025年8月7日 | 2025年8月8日～ 2025年9月8日 | 2025年9月9日～ 2025年10月7日 | 2025年10月8日～ 2025年11月7日 | 2025年11月8日～ 2025年12月8日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 100 0.914% | 200 1.668% | 200 1.722% | 300 2.379% | 300 2.585% | 200 1.772% |
| 当期の収益 | 99 | 200 | — | 300 | — | — |
| 当期の収益以外 | 0 | — | 200 | — | 300 | 200 |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,720 | 5,569 | 5,369 | 6,042 | 5,742 | 5,542 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド）

世界経済はオフラインからオンラインへ、対面からデジタルへと移行しつつあります。娯楽と仕事の両面において成長を牽引するのは、「ゼロ・コンタクト（非接触型）」やフリクションレス（手間やストレスがない状態）であるとみています。この長期的なトレンドはモバイル・インターネットから始まり、新型コロナウイルスが世界で流行する間に加速し、消費者や企業の行動様式を恒久的に変化させたと考えています。

世界の大手企業2,000社にとって、最も緊急性の高い取り組みはDX（デジタル・トランスフォーメーション）、つまりクラウドやモバイル・コンピューティングをベースにデジタルによる業務フローを活用してビジネスを再構築することです。テクノロジーは、手作業を自動化することで農業や製造業をすでに大きく変化させており、長期的な生産性の向上をもたらしています。

当ファンドでは、今後数十年の間にクラウド・コンピューティングやAIのようなテクノロジーによって、データ収集、分析、営業およびマーケティング、顧客サービスなどその他の頭脳労働が自動化されるとみています。AIを活用したクラウドインフラを用いることで、企業のソフトウェア支出は、2019年から2024年までの18%から、2030年までに33%に加速すると予想しています。AI開発を加速させるプラットフォーム・アズ・ア・サービス（PaaS）の提供が、最も急速な成長をみせるカテゴリーになるとみられます。全体では、ソフトウェアへの支出は2024年の約1兆2,500億アメリカドルから2030年までに約7兆アメリカドルに拡大すると予想しています。

また、ストリーミングによって、消費者はビデオ、オーディオ、ゲームの膨大なコンテンツ・ライブラリーにアクセスできます。ストリーミングはコンテンツ配信における主要なテクノロジーになり、視聴習慣の新しい形態になると考えています。ユーザーはオンデマンドのエンターテインメントをあらゆる形態で視聴することを期待しています。世界のストリーミングの売上は、2024年の推定1,368億アメリカドルから2030年までに2,907億アメリカドルになるとみられ、今後5年間で大きく拡大すると予想しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年6月10日～2025年12月8日)

| 項目 | 第50期～第55期 | | 項目の概要 |
|-------------------------|-----------|------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 105 | % 0.897 | (a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (51) | (0.439) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (51) | (0.439) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （受託会社） | (2) | (0.019) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 2 | 0.016 | (b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | (2) | (0.016) | |
| (c) 有価証券取引税 | 0 | 0.000 | (c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株式） | (0) | (0.000) | |
| (d) その他の費用 | 7 | 0.056 | (d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (1) | (0.006) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （印刷費用等） | (6) | (0.048) | 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など |
| 合計 | 114 | 0.969 | |
| 作成期間の平均基準価額は、11,659円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

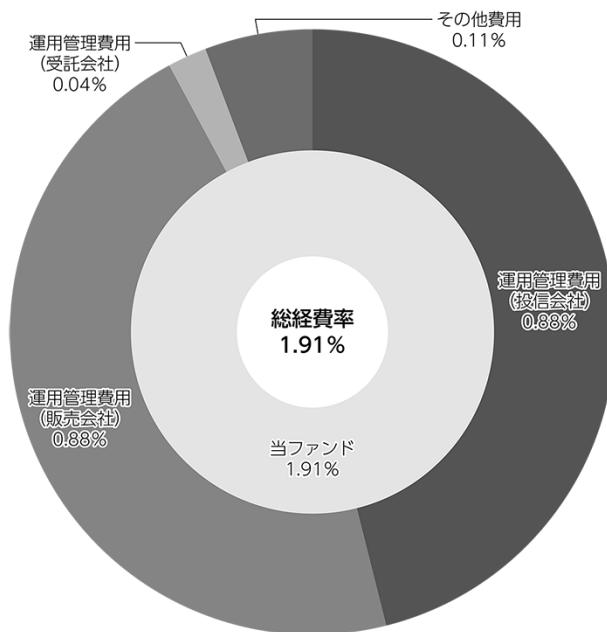
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月10日～2025年12月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 第50期～第55期 | | | |
|----------------------------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
| | 設定期 | | 解約 | |
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| グローバル・デジタル・トランسفォーメーション株式マザーファンド | 千口 706,621 | 千円 1,200,001 | 千口 854,763 | 千円 1,423,604 |

○株式売買比率

(2025年6月10日～2025年12月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 第50期～第55期 | |
|----------------------|----------------------------------|---------------|
| | グローバル・デジタル・トランسفォーメーション株式マザーファンド | |
| (a) 当作成期中の株式売買金額 | | 213,991,708千円 |
| (b) 当作成期中の平均組入株式時価総額 | | 298,743,962千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | | 0.71 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月10日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年6月10日～2025年12月8日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年6月10日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年12月8日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 第49期末 | | 第55期末 | |
|----------------------------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | 口 数 | 千円 | 口 数 | 評 値 額 |
| グローバル・デジタル・トランسفォーメーション株式マザーファンド | 1,605,937 | 1,457,795 | 2,593,127 | 千円 |

(注) 親投資信託の2025年12月8日現在の受益権総口数は、154,203,114千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年12月8日現在)

| 項 目 | 第55期末 | |
|----------------------------------|-----------|--------|
| | 評 値 額 | 比 率 |
| グローバル・デジタル・トランسفォーメーション株式マザーファンド | 2,593,127 | 95.8% |
| コール・ローン等、その他 | 112,833 | 4.2% |
| 投資信託財産総額 | 2,705,960 | 100.0% |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・デジタル・トランسفォーメーション株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（273,393,764千円）の投資信託財産総額（276,547,137千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=155.24円、1ユーロ=180.81円、1香港ドル=19.95円、1南アフリカランド=9.17円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項目 | 第50期末 | 第51期末 | 第52期末 | 第53期末 | 第54期末 | 第55期末 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2025年7月7日現在 | 2025年8月7日現在 | 2025年9月8日現在 | 2025年10月7日現在 | 2025年11月7日現在 | 2025年12月8日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 2,508,263,861 | 2,488,774,764 | 2,312,092,397 | 2,696,594,358 | 2,676,226,980 | 2,705,960,825 |
| コール・ローン等 | 81,352,077 | 125,255,840 | 85,222,581 | 178,213,727 | 239,346,985 | 99,234,177 |
| 未収入金 | 2,362,824,696 | 2,363,517,255 | 2,184,150,337 | 2,495,814,259 | 2,411,189,086 | 2,593,127,462 |
| 未収利息 | 64,086,002 | — | 42,718,341 | 22,563,993 | 25,687,708 | 13,597,859 |
| 1,086 | 1,669 | 1,138 | 2,379 | 3,201 | 1,327 | |
| (B) 負債 | 107,789,052 | 62,010,768 | 85,345,875 | 79,146,488 | 93,967,946 | 62,416,156 |
| 未払収益分配金 | 22,135,669 | 41,171,965 | 39,013,974 | 63,785,624 | 68,521,538 | 47,688,233 |
| 未払解約金 | 81,967,386 | 16,761,185 | 42,077,852 | 11,156,707 | 20,421,852 | 9,576,662 |
| 未払信託報酬 | 3,491,863 | 3,687,029 | 3,668,514 | 3,436,528 | 4,040,678 | 3,957,245 |
| その他未払費用 | 194,134 | 390,589 | 585,535 | 767,629 | 983,878 | 1,194,016 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,400,474,809 | 2,426,763,996 | 2,226,746,522 | 2,617,447,870 | 2,582,259,034 | 2,643,544,669 |
| 元本 | 2,213,566,992 | 2,058,598,276 | 1,950,698,744 | 2,126,187,467 | 2,284,051,283 | 2,384,411,678 |
| 次期繰越損益金 | 186,907,817 | 368,165,720 | 276,047,778 | 491,260,403 | 298,207,751 | 259,132,991 |
| (D) 受益権総口数 | 2,213,566,992口 | 2,058,598,276口 | 1,950,698,744口 | 2,126,187,467口 | 2,284,051,283口 | 2,384,411,678口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,844円 | 11,788円 | 11,415円 | 12,311円 | 11,306円 | 11,087円 |

(注) 当ファンドの第50期首元本額は2,336,590,732円、第50～55期中追加設定元本額は1,734,062,419円、第50～55期中一部解約元本額は1,686,241,473円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第50期1,0844円、第51期1,1788円、第52期1,1415円、第53期1,2311円、第54期1,1306円、第55期1,1087円です。

○損益の状況

| 項目 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 | 第54期 | 第55期 |
|------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2025年6月10日～ 2025年7月7日 | 2025年7月8日～ 2025年8月7日 | 2025年8月8日～ 2025年9月8日 | 2025年9月9日～ 2025年10月7日 | 2025年10月8日～ 2025年11月7日 | 2025年11月8日～ 2025年12月8日 |
| (A) 配当等収益 | 35,090 | 42,251 | 37,553 | 42,586 | 61,867 | 47,020 |
| 受取利息 | 35,090 | 42,251 | 37,553 | 42,586 | 61,867 | 47,020 |
| (B) 有価証券売買損益 | 182,949,504 | 219,869,545 | △ 28,743,485 | 241,225,025 | △153,416,091 | 2,222,043 |
| 売買益 | 205,050,615 | 240,158,478 | 3,312,607 | 246,082,688 | 7,676,238 | 3,816,239 |
| 売買損 | △ 22,101,111 | △ 20,288,933 | △ 32,056,092 | △ 4,857,663 | △161,092,329 | △ 1,594,196 |
| (C) 信託報酬等 | △ 3,685,997 | △ 3,892,015 | △ 3,872,470 | △ 3,627,586 | △ 4,265,325 | △ 4,177,256 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 179,298,597 | 216,019,781 | △ 32,578,402 | 237,640,025 | △157,619,549 | △ 1,908,193 |
| (E) 前期繰越損益金 | 491,186,206 | 511,209,533 | 612,784,651 | 514,493,045 | 582,564,353 | 342,453,907 |
| (F) 追加信託差損益金 | △461,441,317 | △317,891,629 | △265,144,497 | △197,087,043 | △ 58,215,515 | △ 33,724,490 |
| (配当等相当額) | (396,539,991) | (460,562,862) | (473,743,698) | (596,293,484) | (797,506,325) | (875,294,135) |
| (売買損益相当額) | (△857,981,308) | (△778,454,491) | (△738,888,195) | (△793,380,527) | (△855,721,840) | (△909,018,625) |
| (G) 計(D+E+F) | 209,043,486 | 409,337,685 | 315,061,752 | 555,046,027 | 366,729,289 | 306,821,224 |
| (H) 収益分配金 | △ 22,135,669 | △ 41,171,965 | △ 39,013,974 | △ 63,785,624 | △ 68,521,538 | △ 47,688,233 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 186,907,817 | 368,165,720 | 276,047,778 | 491,260,403 | 298,207,751 | 259,132,991 |
| 追加信託差損益金 | △461,441,317 | △317,891,629 | △265,144,497 | △197,087,043 | △ 58,215,515 | △ 33,724,490 |
| (配当等相当額) | (396,579,690) | (460,572,014) | (473,749,392) | (596,339,138) | (797,516,825) | (875,300,196) |
| (売買損益相当額) | (△858,021,007) | (△778,463,643) | (△738,893,889) | (△793,426,181) | (△855,732,340) | (△909,024,686) |
| 分配準備積立金 | 648,349,134 | 686,057,349 | 573,770,677 | 688,347,446 | 514,042,815 | 446,207,614 |
| 繰越損益金 | — | — | △ 32,578,402 | — | △157,619,549 | △153,350,133 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年6月10日～2025年12月8日の期間に当ファンドが負担した費用は7,151,810円です。

(注) 分配金の計算過程(2025年6月10日～2025年12月8日)は以下の通りです。

| 項目 | 2025年6月10日～ 2025年7月7日 | 2025年7月8日～ 2025年8月7日 | 2025年8月8日～ 2025年9月8日 | 2025年9月9日～ 2025年10月7日 | 2025年10月8日～ 2025年11月7日 | 2025年11月8日～ 2025年12月8日 |
|------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| a. 配当等収益(経費控除後) | 385,260円 | 121,864円 | 0円 | 562,839円 | 0円 | 0円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後、譲受け損金補填後) | 178,913,337円 | 215,897,917円 | 0円 | 206,106,010円 | 0円 | 0円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 396,579,690円 | 460,572,014円 | 473,749,392円 | 596,339,138円 | 797,516,825円 | 875,300,196円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 491,186,206円 | 511,209,533円 | 612,784,651円 | 545,464,221円 | 582,564,353円 | 493,895,847円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 1,067,064,493円 | 1,187,801,328円 | 1,086,534,043円 | 1,348,472,208円 | 1,380,081,178円 | 1,369,196,043円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 4,820円 | 5,769円 | 5,569円 | 6,342円 | 6,042円 | 5,742円 |
| g. 分配金 | 22,135,669円 | 41,171,965円 | 39,013,974円 | 63,785,624円 | 68,521,538円 | 47,688,233円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 100円 | 200円 | 200円 | 300円 | 300円 | 200円 |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

| | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 | 第54期 | 第55期 |
|----------------|------|------|------|------|------|------|
| 1万口当たり分配金（税込み） | 100円 | 200円 | 200円 | 300円 | 300円 | 200円 |

○お知らせ

約款変更について

2025年6月10日から2025年12月8日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

グローバル・デジタル・トランスフォーメーション株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日 2025年6月9日）
 (2024年6月8日～2025年6月9日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 信託期間 | 2020年7月31日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | 日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、生活や社会のデジタル化に関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<639137>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 價 額 | 期 謄 落 中 率 | 株 組 入 比 | 純 総 資 産 額 | % | 百万円 | |
|---------------------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|-----|--------|
| | | | | | 騰 | 落 | 率 |
| (設定日) 2020年7月31日 | 円 10,000 | % — | | | % | — | 88,245 |
| 1期(2021年6月7日) | 13,252 | 32.5 | 99.6 | | 630,087 | | |
| 2期(2022年6月7日) | 5,751 | △56.6 | 99.4 | | 218,775 | | |
| 3期(2023年6月7日) | 6,437 | 11.9 | 99.3 | | 237,849 | | |
| 4期(2024年6月7日) | 9,300 | 44.5 | 99.4 | | 283,511 | | |
| 5期(2025年6月9日) | 14,348 | 54.3 | 99.0 | | 310,918 | | |

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 價 額 | 騰 落 率 | 株 組 入 比 | 式 率 | % | | | |
|--------------------|------------|--------|---------|-----|------|---|---|--|
| | | | | | 騰 | 落 | 率 | |
| (期 首) 2024年6月7日 | 円 9,300 | % — | | | 99.4 | | | |
| 6月末 | 9,768 | 5.0 | 99.0 | | | | | |
| 7月末 | 8,827 | △ 5.1 | 99.4 | | | | | |
| 8月末 | 8,834 | △ 5.0 | 99.3 | | | | | |
| 9月末 | 9,392 | 1.0 | 99.3 | | | | | |
| 10月末 | 10,699 | 15.0 | 99.2 | | | | | |
| 11月末 | 12,280 | 32.0 | 99.2 | | | | | |
| 12月末 | 13,067 | 40.5 | 99.3 | | | | | |
| 2025年1月末 | 14,204 | 52.7 | 99.4 | | | | | |
| 2月末 | 12,558 | 35.0 | 99.3 | | | | | |
| 3月末 | 11,373 | 22.3 | 99.1 | | | | | |
| 4月末 | 11,665 | 25.4 | 99.1 | | | | | |
| 5月末 | 13,425 | 44.4 | 99.1 | | | | | |
| (期 末) 2025年6月9日 | 14,348 | 54.3 | 99.0 | | | | | |

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2024年6月8日～2025年6月9日)

基準価額の推移

期間の初め9,300円の基準価額は、期間末に14,348円となり、騰落率は+54.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能（A I）が様々な業種に浸透し、普及が拡大したことによって、幅広い業種の企業が恩恵を受けたこと。
- ・暗号資産市場が上昇基調となり、関連企業の追い風となったこと。
- ・オンラインゲームのプラットフォームおよびサービスへの需要が堅調となったこと。

<値下がり要因>

- ・米国政権による関税政策の発表を受けて、株式市場が不安定になったこと。
- ・一部の保有銘柄で、企業収益が市場予想を下回るなど苦戦したこと。

(株式市況)

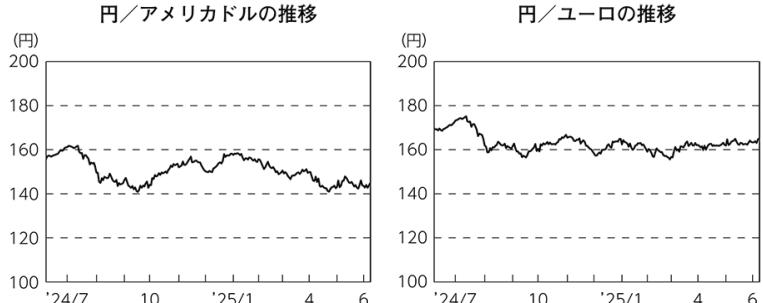
期間中の世界の株式市場は、ボラティリティ（変動性）が高まりました。2024年8月に、米国の経済指標が市場予想を下回ったことや為替市場で円が急上昇したことなどを受けて市場は乱高下し、高利回り投資に対する売り圧力が強まるごとに下落しました。しかし、米国連邦準備制度理事会（F R B）が9月に利下げを実施して他の主要中央銀行に続くと、株式市場はほぼ全域で上昇しました。その後も、ボラティリティが高まったものの、米国の大統領選挙を受けて規制緩和や税負担の軽減が予想されるなか、市場全体にとって好ましい環境が期待されたことから上昇しました。しかし2025年に入ると、米国政権による追加関税の発表が市場全体の売りにつながり、中国の報復関税実施によって状況はさらに悪化しました。こうした困難な状況を受けて、期間中はディフェンシブセクターが相対的に善戦しました。



(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）

は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中の主な投資行動は下記の通りです。

当ファンドでは、ギットラボ（ソフトウェア・サービス）を新規に組み入れました。AIはすでにコーディングスキルへのアクセスを一般化してきており、専門の開発者の生産性を何倍にも高めているとともに、あらゆるスキルレベルの人々がソフトウェア・アプリケーションを作成できるようにしています。これをきっかけとして、AIエージェントが人間によるコーディングの生産性を高めるだけでなく、独自にコードやアプリケーションを作成して人間の代わりにより複雑なタスクを実行するAI革命がより広がっていくと考えています。こうした流れを受けて今後使用されるソフトウェアの数が急激に増加し、それによってコーディング・エージェント自体への需要とともに、開発・セキュリティ・運用プラットフォームへの需要が高まっていくとみられます。生成AIによる生産性向上を活かし、より多くの開発者がより多くのコードを作成するようになるにつれ、特に独自のAIコーディング・エージェント・ツールを開発する同社は、ユーザーベースと1ユーザー当たり平均収益の両方を急速に拡大していくと期待されます。AIの普及に予想以上の時間がかかる場合でも、顧客の間で開発・セキュリティ・運用ツールの調達先ベンダーをより少数へと整理統合しようとする傾向が見られており、足元ではそうした流れが追い風となっています。

その他、エアビーアンドビー（消費者サービス）を新規に組み入れました。世界の旅行・レジャー産業は、技術の進歩やモバイル・アプリケーションの普及、ソーシャルメディアの影響を受けて市場規模が大きく拡大すると予想されています。Z世代を中心とした若い世代は本物でユニークな旅行体験に対する優先度が高く、シームレスな旅行予約サービスや収集・整理されたお勧め情報を提供するプラットフォームの需要は高まっています。予約宿泊数が大幅に伸びていることに加え、2025年夏に予定されている体験予約サービスの戦略的なリニューアルにより、フルサービスの旅行・リビングコンシェルジュへと進化する計画であり、対象市場の拡大と提供サービスの向上が見込まれます。

一方、ユーザーアイパス（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。AIエージェントの台頭による恩恵が期待されていましたが、売上の重要な要素である政府支出の鈍化や新たなエージェント戦略の遂行能力をめぐる不透明感などを受けて、より確信度の高い銘柄へと入れ替えるべく、保有を解消しました。

また、ズーム・コミュニケーションズ（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。無料アカウントから有料アカウントへの誘導に苦戦していることや、新機能の提供開始が遅れていることなどから、プロダクト・リーダーシップおよび実行力の各評価スコアを最近引き下げ、より確信度の高い銘柄へ投資するために保有を解消しました。

○今後の運用方針

世界経済はオフラインからオンラインへ、対面からデジタルへと移行しつつあります。娯楽と仕事の両面において成長を牽引するのは、「ゼロ・コンタクト（非接触型）」やフリクションレス（手間やストレスがない状態）であるとみています。この長期的なトレンドはモバイル・インターネットから始まり、新型コロナウイルスが世界中で感染拡大する間に加速し、消費者や企業の行動様式を恒久的に変化させたと考えています。

世界の大手企業2,000社にとって、最も緊急性の高い取り組みはDX（デジタル・トランスフォーメーション）、つまりクラウドやモバイル・コンピューティングをベースにデジタルによる業務フローを活用してビジネスを再構築することです。テクノロジーは、手作業を自動化することで農業や製造業をすぐに大きく変化させており、長期的な生産性の向上をもたらしています。

当ファンドでは、今後数十年の間にクラウド・コンピューティングやAIのようなテクノロジーによって、データ収集、分析、営業およびマーケティング、顧客サービスなどその他の頭脳労働が自動化されるとみています。AIを活用したクラウドインフラを用いることで、企業のソフトウェア支出は、2019年から2024年までの18%から、2030年までに33%に加速すると予想しています。AI開発を加速させるプラットフォーム・アズ・ア・サービス（PaaS）の提供が、最も急速な成長を見せるカテゴリーになるとみられます。全体では、ソフトウェアへの支出は2024年の約1兆2,500億アメリカドルから2030年までに約7兆アメリカドルに拡大すると予想しています。

また、ストリーミングによって、消費者はビデオ、オーディオ、ゲームの膨大なコンテンツ・ライブラリーにアクセスできます。ストリーミングはコンテンツ配信における主要なテクノロジーになり、視聴習慣の新しい形態になると考えています。ユーザーはオンデマンドのエンターテインメントをあらゆる形態で視聴することを期待しています。世界のストリーミングの売上は、2024年の推定1,368億アメリカドルから2030年までに2,907億アメリカドルになるとみられ、今後5年間で大きく拡大すると予想しています。

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、生活や社会のデジタル化に関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年6月8日～2025年6月9日)

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------------------|------------|--------------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 円 4 (4) | % 0.032 (0.032) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 0 (0) | 0.002 (0.002) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) その他の費用 (保管費用) | 1 (1) | 0.011 (0.011) | (c) その他の費用＝期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| 合計 | 5 | 0.045 | |
| 期中の平均基準価額は、11,341円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2024年6月8日～2025年6月9日)

株式

| | | 買付 | | 売付 | |
|--------|-------------|---------------------------|---------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|
| | | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 |
| 国内 | 上場 | 千株 — | 千円 — | 千株 5,078 | 千円 2,491,368 |
| 外 国 | アメリカ | 百株 108,643 (5,119) | 千アメリカドル 573,606 (30,967) | 百株 298,525 (2,559) | 千アメリカドル 1,206,055 (30,967) |
| | ユーロ オランダ | — | 千ユーロ — | 59 | 千ユーロ 8,124 |
| | 南アフリカ | — | 千南アフリカランド — | 18,574 | 千南アフリカランド 272,951 |

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年6月8日～2025年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---------------------|---------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 273,417,304千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 279,670,090千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.97 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月8日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年6月8日～2025年6月9日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

国内株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | | |
|----------------|----------|-------|-----------|-----------|
| | | 株 数 | 株 数 | 評価額 |
| その他製品 (100.0%) | 千株 | 千株 | 千株 | 千円 |
| 任天堂 | 287.9 | 209.4 | 2,529,552 | |
| 情報・通信業 (-%) | | | | |
| L I N E ヤフー | 4,999.5 | — | — | — |
| 合 計 | 株 数 | 5,287 | 209 | 2,529,552 |
| | ・ 金 額 | | | |
| | 銘柄数 <比率> | 2 | 1 | <0.8%> |

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当期末 | | 業種等 | |
|------------------------------|---------|----------|---------|------------|------------------------|--|
| | 株数 | 株数 | 評価額 | | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (アメリカ) | 百株 | 百株 | 千アメリカドル | 千円 | | |
| CLOUDFLARE INC-CLASS A | 5,853 | 3,852 | 69,215 | 10,029,382 | ソフトウェア・サービス | |
| GENIUS SPORTS LTD | 85,296 | 45,774 | 43,394 | 6,287,815 | 消費者サービス | |
| IBOTTA INC-CL A | 382 | 5,189 | 25,627 | 3,713,414 | メディア・娯楽 | |
| NEXTDOOR HOLDINGS INC | 89,181 | 86,664 | 14,039 | 2,034,350 | メディア・娯楽 | |
| NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A | 23,746 | — | — | — | 銀行 | |
| PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A | 30,748 | 13,039 | 166,541 | 24,131,865 | ソフトウェア・サービス | |
| PAGERDUTY INC | 14,119 | 10,074 | 16,461 | 2,385,331 | ソフトウェア・サービス | |
| PINTEREST INC- CLASS A | 12,984 | 11,002 | 37,630 | 5,452,614 | メディア・娯楽 | |
| PURE STORAGE INC - CLASS A | 7,150 | 4,228 | 23,378 | 3,387,543 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | |
| REDDIT INC-CL A | — | 1,007 | 12,217 | 1,770,251 | メディア・娯楽 | |
| ROBLOX CORP -CLASS A | 34,058 | 18,585 | 178,051 | 25,799,590 | メディア・娯楽 | |
| RUBRIK INC-A | — | 3,774 | 36,956 | 5,354,943 | ソフトウェア・サービス | |
| SALESFORCE INC | — | 997 | 27,394 | 3,969,535 | ソフトウェア・サービス | |
| SERVICENOW INC | 122 | — | — | — | ソフトウェア・サービス | |
| SHOPIFY INC - CLASS A | 15,201 | 14,082 | 156,898 | 22,734,589 | ソフトウェア・サービス | |
| SNAP INC - A | 13,751 | 21,679 | 17,928 | 2,597,888 | メディア・娯楽 | |
| SPOTIFY TECHNOLOGY SA | 1,544 | 796 | 56,717 | 8,218,331 | メディア・娯楽 | |
| BLOCK INC | 14,087 | 7,630 | 49,589 | 7,185,567 | 金融サービス | |
| TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR | 1,126 | 2,298 | 47,165 | 6,834,347 | 半導体・半導体製造装置 | |
| TELADOC HEALTH INC | 3,290 | — | — | — | ヘルスケア機器・サービス | |
| THE WALT DISNEY CO. | 956 | 1,130 | 12,875 | 1,865,641 | メディア・娯楽 | |
| TOAST INC-CLASS A | 19,822 | 13,976 | 61,509 | 8,912,767 | 金融サービス | |
| UIPATH INC - CLASS A | 34,785 | — | — | — | ソフトウェア・サービス | |
| UNITY SOFTWARE INC | 37,025 | 18,037 | 45,328 | 6,568,152 | ソフトウェア・サービス | |
| ADVANCED MICRO DEVICES | 1,266 | 4,104 | 47,693 | 6,910,796 | 半導体・半導体製造装置 | |
| AIRBNB INC-CLASS A | — | 3,531 | 49,663 | 7,196,241 | 消費者サービス | |
| AMAZON.COM INC | — | 1,872 | 39,984 | 5,793,703 | 一般消費財・サービス流通・小売り | |
| BAIDU INC - SPON ADR | — | 940 | 8,068 | 1,169,131 | メディア・娯楽 | |
| COINBASE GLOBAL INC -CLASS A | 5,699 | 4,202 | 105,590 | 15,300,127 | 金融サービス | |
| COREWEAVE INC-CL A | — | 2,186 | 30,647 | 4,440,785 | ソフトウェア・サービス | |
| CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A | 1,696 | 1,543 | 72,320 | 10,479,259 | ソフトウェア・サービス | |
| DATADOG INC-CLASS A | 1,502 | 1,777 | 21,709 | 3,145,748 | ソフトウェア・サービス | |
| PAYPAL HOLDINGS INC | 2,793 | 2,012 | 14,779 | 2,141,492 | 金融サービス | |
| META PLATFORMS INC-CLASS A | 1,281 | 1,132 | 79,007 | 11,448,256 | メディア・娯楽 | |
| GITLAB INC-CL A | — | 8,925 | 43,528 | 6,307,215 | ソフトウェア・サービス | |
| GLOBAL-E ONLINE LTD | 5,368 | 3,841 | 13,287 | 1,925,389 | 一般消費財・サービス流通・小売り | |
| MERCADOLIBRE INC | 312 | 254 | 63,087 | 9,141,372 | 一般消費財・サービス流通・小売り | |
| MICROSOFT CORP | 347 | — | — | — | ソフトウェア・サービス | |
| NETFLIX INC | 54 | 41 | 5,124 | 742,584 | メディア・娯楽 | |
| DRAFTKINGS INC-CL A | 21,449 | 15,192 | 54,402 | 7,882,981 | 消費者サービス | |
| NVIDIA CORP | 287 | 2,312 | 32,777 | 4,749,408 | 半導体・半導体製造装置 | |
| ROKU INC | 17,405 | 11,714 | 91,959 | 13,324,879 | メディア・娯楽 | |
| ROBINHOOD MARKETS INC - A | 46,431 | 23,379 | 175,063 | 25,366,758 | 金融サービス | |
| TRADE DESK INC/THE -CLASS A | 4,425 | 4,296 | 30,703 | 4,448,896 | メディア・娯楽 | |
| VERACYTE INC | 1,136 | — | — | — | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | |
| ZOOM COMMUNICATIONS INC | 7,713 | — | — | — | ソフトウェア・サービス | |
| 小計 | 株数 | ・ 金額 | 564,407 | 377,085 | 2,078,322 | |
| | 銘柄 | 数 < 比率 > | 38 | 39 | <96.9%> | |

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | | | | 業種等 | |
|--------------------------|-------------------|-----------|----------------|-----------------|-------------|---------|--|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (ユーロ…オランダ) ADYEN NV | 百株 202 | 百株 142 | 千ユーロ 24,583 | 千円 4,058,993 | | 金融サービス | |
| ユーロ計 | 株数・金額 銘柄数 <比率> | 202 | 142 | 24,583 | 4,058,993 | | |
| (南アフリカ) DISCOVERY LTD | 18,574 | — | 千南アフリカランド — | — | — | 保険 | |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数 <比率> | 18,574 | — | — | — | | |
| 合計 | 株数・金額 銘柄数 <比率> | 583,184 | 377,228 | — | 305,207,948 | | |
| | | 40 | 40 | — | — | <98.2%> | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年6月9日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|-------------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 株式 | 千円 307,737,500 | % 98.6 |
| コール・ローン等、その他 | 4,284,506 | 1.4 |
| 投資信託財産総額 | 312,022,006 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（309,168,409千円）の投資信託財産総額（312,022,006千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=144.90円、1ユーロ=165.11円、1香港ドル=18.46円、1南アフリカランド=8.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月9日現在）

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|------------------|
| (A) 資産 | 円 |
| コレ・ローン等 | 313,890,132,596 |
| 株式(評価額) | 3,256,416,926 |
| 未収入金 | 307,737,500,420 |
| 未収配当金 | 2,878,412,455 |
| 未収利息 | 17,799,000 |
| | 3,795 |
| (B) 負債 | 2,971,626,310 |
| 未払金 | 1,890,903,321 |
| 未払解約金 | 1,080,722,989 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 310,918,506,286 |
| 元本 | 216,693,443,357 |
| 次期繰越損益金 | 94,225,062,929 |
| (D) 受益権総口数 | 216,693,443,357口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 14,348円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は304,859,306,065円、期中追加設定元本額は441,274,655円、期中一部解約元本額は88,607,137,363円です。

(注) 2025年6月9日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド 213,242,681,989円
- ・グローバル・イノベーション株式ファンド（適格機関投資家向け） 1,844,823,520円
- ・デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド（予配分配型提示型） 1,605,937,848円

(注) 1口当たり純資産額は1.4348円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2024年6月8日から2025年6月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

○損益の状況（2024年6月8日～2025年6月9日）

| 項目 | 当期 |
|------------------|------------------|
| (A) 配当等収益 | 円 |
| 受取配当金 | 256,130,809 |
| 受取利息 | 133,198,741 |
| その他の収益金 | 87,306,622 |
| | 35,625,446 |
| (B) 有価証券売買損益 | 128,318,018,431 |
| 売買益 | 156,313,743,046 |
| 売買損 | △ 27,995,724,615 |
| (C) 保管費用等 | △ 31,495,459 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 128,542,653,781 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 21,348,175,556 |
| (F) 追加信託差損益金 | 108,059,707 |
| (G) 解約差損益金 | △ 13,077,475,003 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 94,225,062,929 |
| 次期繰越損益金(H) | 94,225,062,929 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。